

山本山手地区防災計画

自助・共助が家族を守る

令和8年（2026年）4月

山本山手地区まちづくり協議会

目 次

1. 基本方針

2. 基本情報

- (1) 地区防災計画策定時の情報
- (2) 地区の特性
- (3) 山本山手地区上水道配水系統

3. 予想される災害と被害

- (1) 巨大地震によって考えられる被害
- (2) スーパー台風によって考えられる被害
- (3) 山火事によって考えられる被害

4. 山本山手地区の避難所情報とその他の情報

- (1) 自主避難所 (2) 指定避難所 (3) 予備避難所
- (4) 福祉避難所 (5) 避難地 (6) 届出避難所
- (7) 近辺の救急病院 (8) 緊急時の連絡先

5. 宝塚市（周辺地区）災害への備えについて

- (1) 防災備蓄倉庫 (2) 簡易トイレと携帯トイレの備蓄
- (3) 消防車両 (4) 給水 (5) 在宅避難者への食糧・水等救援物資の配布

6. 防災に関し地域諸団体に望まれる事

- (1) 地域への防災知識の普及と啓発 (2) 防災組織の立ち上げ
- (3) 防災備品の整備と管理 (4) 各種訓練（消火訓練、避難訓練、AED 使用訓練他）
- (5) 災害発生時に避難所に配置される職員

7. まちづくり協議会（コミュニティ）と地域諸団体の活動

- (1) 平常時の活動 (2) 災害発生時の取り組み

8. 地域諸団体が保有する防災資機材

9. 指定避難所の開設と運営

10. 各家庭に望まれる防災への備え

- (1) 大災害発生に備えて家族間の話し合い (2) 家具家電の置き方と転倒防止対策
- (3) ライフライン停止への対策

11. 今後の検討課題

1. 基本方針

災害が発生した直後は、交通網の寸断、火災の同時多発などにより消防や警察などの防災機関が十分に対応できない可能性があります。そんな時、力を発揮するのが「地域ぐるみの協力体制」です。

私達の地区では「自分達の地区は自分達で守る」という心構えで、地区の皆で助け合いながら、災害に強いまちづくりを進めます。まずは山本山手地区の災害リスクの分析を行い、この地域に合った防災計画を策定します。

ただし、新しい開発地域でもあり、状況、環境等は変わるので、必要に応じて計画の見直しを行います。

2. 基本情報

(1) 地区防災計画策定時の情報

①地区の面積・世帯数・人口

*2024年5月集計

地区	面積 (畝)	世帯数	人口	男性	女性
平井山荘	13	456	984	461	523
山手台西1丁目	11	60	145	69	76
山手台西2丁目	16	403	926	425	501
山手台西4丁目	18	543	1,571	746	825
山手台東1丁目	26	411	1,200	587	613
山手台東2丁目	12	203	529	257	272
山手台東3丁目	17	311	1,071	529	542
山手台東4丁目	33	111	359	186	173
山手台東5丁目	44	423	1,480	747	733
山本台1丁目	7	205	445	214	231
山本台2丁目	5	198	410	194	216
山本台3丁目	7	398	1,013	500	513
合計	209	3,722	10,133	4,915	5,218

②地区防災計画の策定主体

・策定主体は山本山手地区まちづくり協議会の安全部とします。

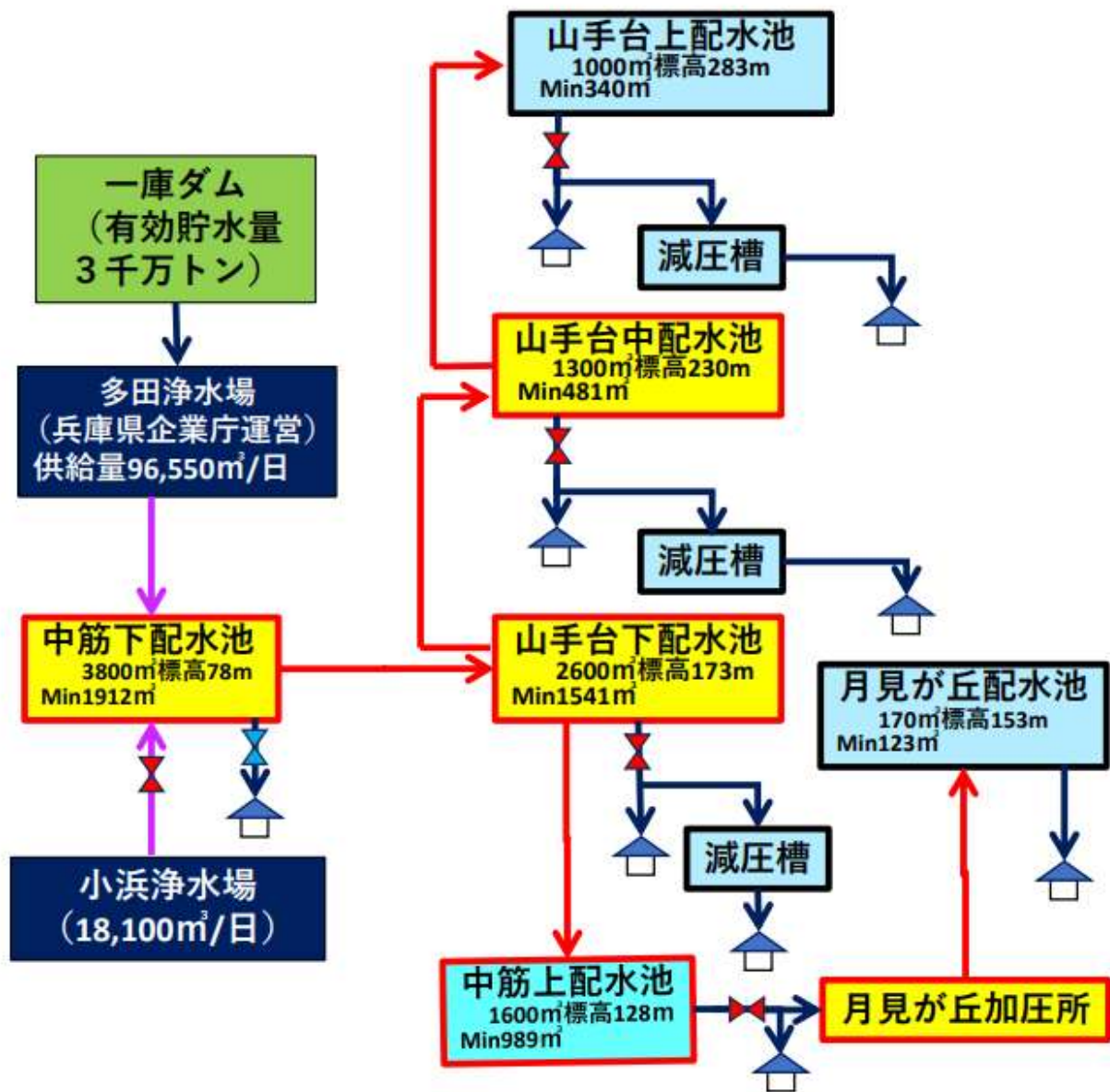
③地区防災計画の検討に参加している自治会

・平井山荘自治会 ・山本台自治会 ・宝塚山手台自治会
・クレール宝塚ベルエール自治会 ・宝塚山手台東自治会 ・宝塚山手台西4丁目自治会
・宝塚山手台東5丁目自治会 ・フォルテガーデン自治会

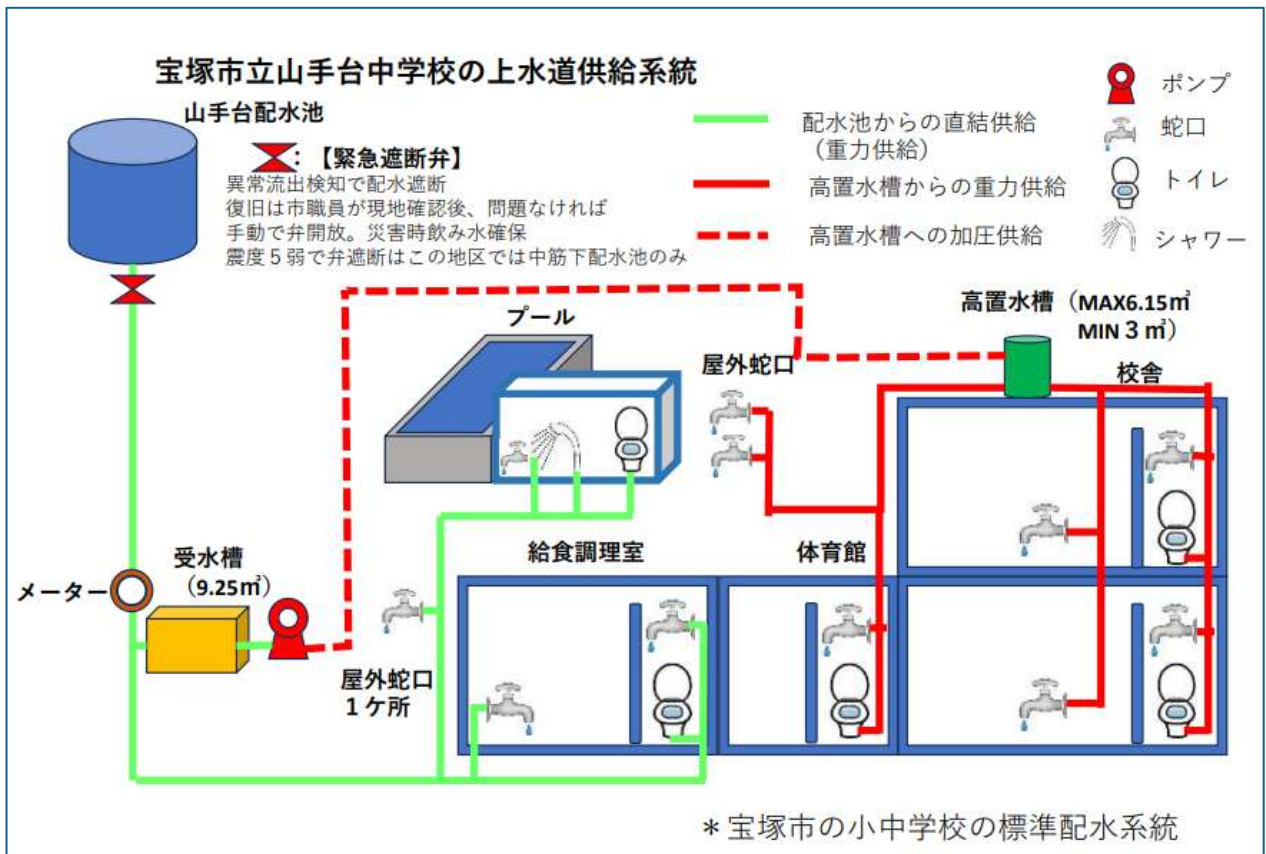
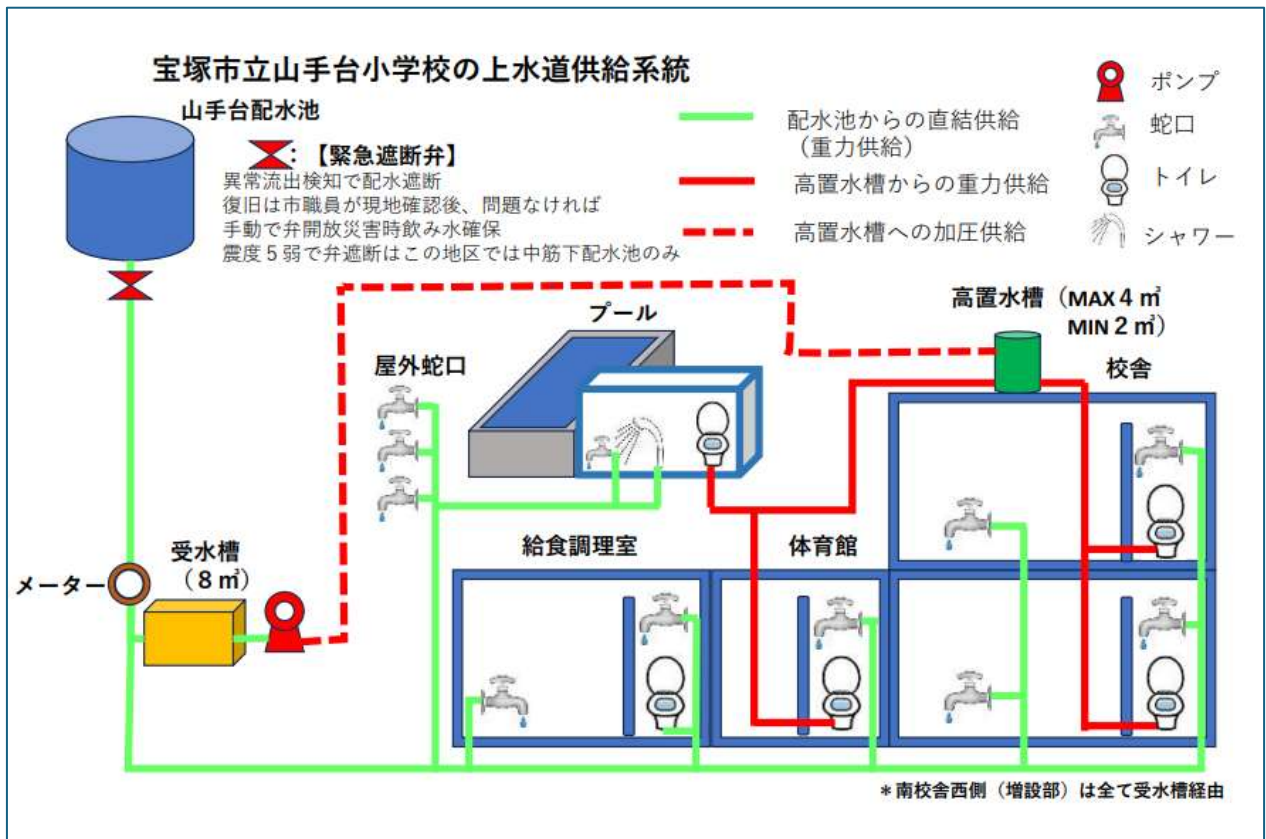
(2) 地区の特性

- ①長尾山系の尾根の一部を切り出し整地された、海拔50mから267mの南北に細長い住宅地となっており、津波・高潮・川の氾濫はありません。
- ②地域は固い岩盤の上であり地震で揺れにくいとされています。しかし地域の半分近くは大規模谷埋め盛土となっており、揺れ方は場所によって異なる事が考えられます。
- ③1981年6月に施行された新耐震基準（震度6強～7程度の揺れでも家屋が倒壊・崩壊しない）で建築された住宅が大半の地域です。さらに2000年には木造住宅のさらなる耐震性向上が図られ、地震には強い住宅の多い区域ですが、山本台、平井山荘には旧耐震基準で建てられ、阪神淡路大震災で被害を受けた家もあります。
- ④山の尾根を切り開いているため、地域の（長尾山に向かって）左右には土砂災害警戒区域（傾斜角30度以上で高さ5m以上の斜面）や土砂災害特別警戒区域も設定されています。
- ⑤上水道配水は中筋下配水池より山手台、山本台、平井山荘それぞれの標高の高い配水池にポンプアップされ、そこから重力により各家庭に配水されています。そのため、停電しても配水池に貯蔵されている水の配水が可能であり、約1日は断水しないと言われてはいますが、災害発生時の配水池貯水量と地域の時間当たり使用料によっては直ぐに枯渇するかも知れません。
また、配管破損等で、異常な漏水が発生した場合には緊急遮断弁が作動し断水となります。復旧は破損個所の修理を終え市役所職員が安全確認後に手動で弁開放で復旧となります。

(3) 山本山手地区上水道配水系統



- 🚫 : 【緊急遮断弁A】 異常流出検出で遮断
- 🚫 : 【緊急遮断弁B】 異常流出検出or震度5弱で遮断



3. 予想される災害と被害

(1) 巨大地震によって考えられる被害

*宝塚市全体での被害予想

地震	規模 (M)	30年以内発生確率	市内最大震度	全壊棟数	死者数	避難者数
南海トラフ地震	9.0	70~80%	震度6弱	67	2	588
有馬一高槻断層帯	7.7	ほぼ0~0.04%	震度7	13,455	840	69,899
六甲・淡路島断層帯	7.9	ほぼ0~1%	震度7	22,309	1,311	101,316
上町断層帯	7.5	2~3%	震度7	1,942	126	21,101

①家屋の倒壊

本地域における阪神淡路大震災時の建屋全壊・半壊率は約2.5%でした。現在は住宅が当時の10倍に増えていますが、その多くは新耐震基準を満たしています。

しかしながら、一部には一度大きな揺れを経験した住宅や、旧耐震基準の住宅もあるため、被害が無いとは言い切れません。

また、建屋は無事であっても、家具の転倒等による負傷や火災の発生なども考えられます。

阪神淡路大震災時の山本山手地区建屋損壊状況

*1995年1月17日

区分	世帯数	全壊	半壊	一部損壊	損壊率%
山手台東1丁目	1	0	0	0	0
山手台西2丁目	104	0	0	12	11.5
山本台2丁目	165	0	3	33	21.8
山本台3丁目	197	1	8	67	38.6

②土砂崩れ

地域には、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域もあります。がけ崩れ、土石流、地すべりなどで斜面が崩れ土砂・岩・流木が一気に流下することが考えられます。道路の通行不能、送電線の損傷などの恐れも考えられます。

③津波

この地域に浸水や津波の予想はされていませんが、海に近い地域の多くの方が避難してくる事が考えられます。

④ライフライン（電気、水、ガス）の停止

局所的な停電復旧は早いと言われますが、送電網が破壊された場合は、その箇所によっては復旧に相当の日数を要する可能性があります。特に南海トラフ地震の様に広域災害の場合は復旧にかなりの日数が掛かる場合があります。

また、山本山手地区の水道は全てポンプアップとなっており、配管の破損や停電が生じた場合には、断水となる可能性があります。但し、配水池には通常使用で1日分の水が溜められていますので、停電になっても供給されます。

阪神淡路大震災の時も復旧に長期間掛かりましたが、ガス供給はガス漏れチェックに日数を要する為、復旧に長期間掛かります。

⑤帰宅困難者の発生

当地区はベッドタウンとなっており、近隣都市へ働きに出ている方が多く、この方々が帰宅できなくなれば、学校、幼稚園に多くの子供が残されます。また、家庭内に生活支援を必要としている方が取り残される可能性もあります。

(2) スーパー台風によって考えられる被害

地球温暖化で風速50m/秒を超す超大型台風の襲来があり得ます。山本山手地区は長尾山脈の中腹に位置しており、台風の進路により北風は吹き下ろし、南風は大阪湾からの吹上となり、多くの住宅に被害が出る可能性があります。また線状降水帯の発生や数日に亘る大雨で川の氾濫、土砂崩れの恐れがあります。

①公園、街路樹の倒木や折れた枝が飛ばされ住宅の壁、屋根、窓を損壊。また、駐車場の自動車、自転車、カーポートが飛ばされ住宅を破損

②電柱が倒され停電

③雨台風で土砂崩れや石垣崩れ

④市道3259線側溝の排水能力オーバーで道路が冠水する恐れがある。

また側溝の蓋、マンホールの蓋が排水で外れる可能性もある。

⑤大雨で阪急電鉄山本駅アンダーパスの冠水

⑥山本山手地区は川の氾濫による直接的な被害は無いと思われませんが、阪急電鉄沿線が洪水となれば、当地区は陸の孤島となる可能性がある。

⑦交通網の寸断で帰宅困難者がでる。

(3) 山火事によって考えられる被害

20 数年前に数度山手台東地区で山火事が発生しましたが、山手台、平井山荘共に東西を森で囲われており、しかも手入れがされない自然緑地帯となっていますので、冬季は落ち葉も多く、風も強いうえに、空気が乾燥していると、山火事が延焼しやすい状況です。また、飛び火による住宅延焼も考えられます。

4. 山本山手地区の避難所情報とその他の情報

(1) 自主避難所

特に大型で勢力の強い台風の接近時や、大雨警報等の発表時に洪水や土砂災害の発生が懸念される場合に、早めの避難を希望される方の受け入れ体制として、自主避難者を受け入れるために開設する施設

* 避難所は市が開設してから避難が可能です。また、実際の災害発生時においては、災害の種類や施設の状況により利用できないことがあります。その際は、市災害対策本部からの指示に基づき避難してください。

名 称	所 在 地	電 話	浸水時の開所	土砂災害時の開所
中山五月台中学校	宝塚市中山五月台 4 丁目 20 番 1 号	0797- 88-7512	○	○
長尾南小学校	宝塚市山本南 2 丁目 1 0 - 1	0797- 88-3137	○	○

(2) 指定避難所

災害が発生した場合の避難所で、市がまず開設する避難所

名 称	所 在 地	電 話	浸水時の開所	土砂災害時の開所
中山五月台中学校	宝塚市中山五月台 4 丁目 20 番 1 号	0797- 88-7512	○	○
山手台小学校	宝塚市山手台西 3 丁目 1 番 1 号	0797-88- 5322	○	×
山手台中学校	宝塚市山手台西 1 丁目 4 番 1 号	0797-88- 1201	○	×
長尾小学校	宝塚市山本東 1 丁目 10 番 10 号	0797-88- 2031	○	○

(3) 予備避難所

高齢者や障碍（がい）者、特別な配慮が必要な災害時要援護者優先の避難所。大災害などで、避難所開設期間が長引くようであれば、指定避難所から巡回保健師が順次振り分けを行う。保健師の指定が無ければ予備避難所には入れません。

名 称	所 在 地	電 話	浸水時 の 開所	土砂災害 時 の開所
共同利用施設 山本台会館	宝塚市山本台 1 丁目 13 番 3 号		○	○
中山台コミュニテ ィセンター	宝塚市中山桜台 5 丁目 15 番 2 号	0797-89- 9605	○	×

(4) 福祉避難所

特に介護が必要な方のために、必要な設備や人員を整備した専用の施設
(福祉避難所へ直接避難することはできません。必要に応じて指定避難所から福祉
避難所へ対象者を巡回保健師の指示で移送します。但し自動車等での移送の保証は
ありません。)

名 称	所 在 地	電 話	浸水時の 開所	土砂災害時 の開所
特別養護老人ホーム ケアホーム 中山ちどり	宝塚市中山桜台 1 丁目 7- 1	0797 82-0201	○	○
特別養護老人ホーム 宝塚あいわ苑	宝塚市中筋 2 丁目 10-18	0797 80-4165	○	○

(5) 避難地

避難地は火災等から一時的に身の安全を確保するための場所（空地）です。

名 称	所 在 地	浸水時の 開所	土砂災害時 の開所
愛宕原ゴルフ倶楽部	宝塚市切畑字長尾山 5-3	○	○
宝塚けやきヒルカントリークラ ブ	宝塚市切畑字長尾山 19- 14	○	○
新宝塚カントリークラブ	宝塚市切畑字剣見 1-2	○	○
宝塚クラシックゴルフ倶楽部	宝塚市切畑桜小場 19	○	○
大宝塚ゴルフクラブ	宝塚市切畑字長尾山 19	○	○
太平洋クラブ宝塚コース	宝塚市芝辻新田字花折 7- 2	○	○
宝塚高原ゴルフクラブ	宝塚市切畑字長尾山 14	○ ※1	○ ※1

※1…開設された場合、ペット同伴避難が可能な避難施設

(6) 届出避難所

「届出避難所」として登録されている自治会館 の事です。

届出避難所は、自治会が自主的に開設、運営するもののため、市職員の派遣はありません。市からは登録時点で毛布 5 枚が支給されています。

名 称	所 在 地	備 考
平井山荘自治会館	平井山荘 1 4 - 1	
宝塚山手台自治会館	山手台西 2 丁目 2 7 - 1	
宝塚山手台東自治会館	山手台東 2 丁目 4 - 1	

*自治会館には空調設備、寝具、調理道具が揃っており、避難者が数家族であれば、自治会役員と相談し、市役所総合防災課に届け出を行い、届け出避難所に避難する事をお勧めします。

(7) 近辺の救急病院

病院名	住 所	電 話
東宝塚さとう病院	兵庫県宝塚市長尾町 2-1	0797-88-2200
宝塚市立病院	兵庫県宝塚市小浜 4-5-1	0797-87-1161
宝塚第一病院	兵庫県宝塚市向月町 19-5	0797-84-8811
正愛病院	兵庫県川西市久代 2-5-34	0727-58-5821
川西市立総合医療センター	兵庫県川西市火打 1-4-1	0727-89-8199
こだま病院	兵庫県宝塚市御殿山 1-3-2	0797-87-2525
池田回生病院	大阪府池田市建石町 8-47	0727-51-8001
宝塚病院	兵庫県宝塚市野上 2-1-2	0797-71-3111
伊丹恒生 脳神経外科病院	兵庫県伊丹市西野 1-300-1	0727-81-6600
市立池田病院	大阪府池田市城南 3-1-18	0727-51-2881

(8) 緊急時の連絡先

連絡先名	住 所	電 話
宝塚市役所	東洋町 1 - 1	0797-71-1141
宝塚市総合防災課	東洋町 1 - 1	0797-77-2078
宝塚市道路管理課		0797-77-2095
宝塚市公園河川課		0797-77-2021
宝塚市上下水道局	東洋町 1 - 3	0797-73-3988
宝塚市東消防署	山本南 2 丁目 5 - 1	0797-88-0119
宝塚警察署	旭町 1 丁目 2 - 3 0	0797-85-0110
大阪ガス	ガス漏れ	0120-7-19424
関西電力送配電	停電、送電線の異常	0800-777-3081
山本山手コミュニティ	本部役員宛	honbu@ymtc.info
山本山手コミュニティ	運営委員宛	unei@ymtc.info

5. 宝塚市（周辺地区）災害への備えについて

(1) 防災備蓄倉庫

各指定避難所には段ボールベッド、間仕切り、毛布各10 sets、防災テント2 sets、とその他若干の備品しかありませんが、市内8ヶ所に防災備蓄倉庫があり、そこには防災食4万食等備蓄されています。

当地区に近い倉庫は下記2か所

施設名	住所	
旧中山五月台小学校	兵庫県宝塚市中山五月台7丁目4-1	
東消防署	兵庫県宝塚市山本南2丁目5-1	

(2) 簡易トイレと携帯トイレの備蓄

令和6年6月時点

品名	令和6年6月時点	将来目標
携帯トイレ	24,603 回分	176,640 回分
簡易トイレ	205 台	284 台
段ポールトイレ	20 台	
マンホールトイレ	23 台（一部の学校と末広公園）	

(3) 消防車両

令和6年4月時点

種類	保有台数	備考
ポンプ車	3 台	消火車両への水の補給
タンク付きポンプ車	8 台	延焼防止放水、消火放水
ポンプ車 (CAFS 付)	2 台	
はしご車 (CAFS 付)	1 台	高層消火放水
はしご車	1 台	高層救出
救急車	9 台	

* 市内2ヶ所までの同時住宅火災への消火活動が可能

(4) 給水

給水ローリー車（8 m³ 一人一日3ℓとして約2,666人分の飲料水が賄える）2台と市内8箇所の耐震貯水槽（100 m³ 約3万3千人分の飲料水）で飲料水を確保しています。

当地区の近くでは中山台のコミュニティセンター駐車場と山本新池公園に耐震貯水槽があります。

(5) 在宅避難者への食糧・水等救援物資の配布

在宅避難者は最寄りの指定避難所に届け出る事で、救援物資、水を指定避難所で受け取る事が出来ます。

自治会（自主防災会）単位で在宅避難者登録を総合防災課又は近隣指定避難所に届け出はできます。但し物資・水の受け取りは登録避難所であり、入荷日時等は市のホームページか20のまちづくり協議会への連絡となります。各自治会への連絡はありません。

6. 防災に関し地域諸団体に望まれる事

(1) 地域への防災知識の普及と啓発

(2) 防災組織の立ち上げ

(3) 防災備品の整備と管理

(4) 各種訓練（消火訓練、避難訓練、AED使用訓練他）

(5) 災害発生時に避難所に配置される職員

災害発生時は各指定避難所に市職員2名が配置され、物資の供給拠点となりますが、地域住民や諸団体には下記の様な活動が望まれます。

① 初期消火

② 安否確認

③ 要援護者の救助

④ 地域災害対策本部の役割

イ 情報収集と地域への情報発信

ロ 避難所運営支援

ハ 避難者の情報集約・受付名簿作成

ニ 地域の被害状況把握

ホ 情報の周知（避難所内、外）

へ 市対策本部との連携

ト 避難所は物資の供給拠点となるが、地域の要請把握と物資の配布

7. まちづくり協議会（コミュニティ）と地域諸団体の活動

（1）平常時の活動

① コミュニティ

イ 防災知識の普及と啓発

自治会などの諸団体と協働し山本山手地区住民への防災知識の普及や啓発活動を行います。

ロ 地域の安全点検

自治会諸団体と協働・手分けし地区の危険な場所や防災上問題のある場所等を確認し、改善のための働きかけ等を行います。

ハ 防災資機材の整備

山手台小学校に設置の地域共同防災倉庫の資機材の整備と点検を行います

ニ 防災訓練

CoKo センターでの火災避難訓練、地域の要望があれば指定避難所での防災訓練を実施します。

② 自治会

防災知識の普及と啓発、自治会地域の安全点検、防災資機材の整備と点検、防災訓練等を行います。

③ 民生児童委員

コミュニティや自治会との連携を図ります。

（2）災害発生時の取り組み

① コミュニティ

イ 山本山手地区災害対策本部の立ち上げ。

宝塚市災害対策本部との連携を図る。（但しメールが使える場合）

ロ 指定避難所役員との連携と支援

ハ 保護者が帰宅困難となった場合、山手台小学校には残された児童が多数発生するため PTA や見守りボランティアと協力し教員のサポートをします。

② 自治会

初期消火活動、隣近所の安否確認と自身の安全確保の上での救助活動、要援護者支援、在宅避難者のまとめと避難所への届出（救援物資の必要な方のリスト作成と届出）等を行います。

③ 民生児童委員

災害時要援護者の安否確認と情報提供等の支援を行います。

8. 地域諸団体が保有する防災資機材

	セ ン タ ー	C o o r d i n a t e	自 治 会	宝 塚 山 手 台	自 治 会	宝 塚 山 手 台 東	4 丁 目 自 治 会	宝 塚 山 手 台 西	5 丁 目 自 治 会	宝 塚 山 手 台 東	山 本 台 自 治 会	自 治 会	平 井 山 荘	防 災 倉 庫	山 手 台 小 学 校	合 計
ヘルメット			20	15	5	5						29				74
メガホン			1	1	2	2										7
リヤカー			1									1	1			3
AED	1		1													2
携帯担架				1												1
強力ライト	1		1	1												3
発電機					2	2								1		5
テント大	1															1
テント中			1	1												2
カセットコンロ			3											3		6
消火器	2		4	4	4	4						3				21
油圧ジャッキ			1	4								1				6
バール	1			2								1				4
大ハンマー	1			2												3
のこぎり	2			2												4
動力のこぎり	3															3
救急箱	1		1	1	1	1						1				6
LEDランタン												6				6
AED	1		1									1				3
テレビ				1												1
ラジオ			2									1				3
Wi-Fi	1		1	1								1				4
PC	1			1	1	1						1				5
スクリーン	1		1	1												3
液晶プロジェクター	1		1	1	1	1										5
スマホ充電コネクター	2													1		3

9. 指定避難所の開設と運営

- (1) 指定避難所は学校長又は市職員が建屋の安全確認を行い開錠開設されます。
- (2) 避難者の少ない時は市職員の指導で運営されますが、人数が多く、長期に避難所運営が行われる場合は市職員の指導の下、避難者で下記の体制を作り、宝塚市避難所運営マニュアルと教育委員会が各学校に配備している施設利用規約に基づき運営を行います。地域諸団体の支援が望まれています。

【体制】

代表1名、副代表数名、連絡班、食料班、情報班、総務、受付他

(3) 宝塚市避難所運営マニュアル

宝塚市避難所運営マニュアルは総合防災課が発行の『宝塚市避難所運営マニュアル』を参照下さい。各学校の避難所としての設備使用基準等は教育委員会が作成し、各学校責任者が保管しているとの事です。これは一般には公表されません。参考までに山本山手コミュニティ安全部が作成した山手台小学校の避難所施設、施設利用計画、体育館利用計画書を添付します。

10. 各家庭に望まれる防災への備え

(1) 大災害発生に備えて家族間の話し合い

- ・安否確認の方法（連絡先、連絡手段等）確認
- ・避難場所や集合場所の確認

(2) 家具家電の置き方と転倒防止対策

(3) ライフライン停止への対策

① 断水対策

イ 飲料水は大人一人1日3ℓとして7日分確保が勧められます。

*エコ給湯のタンク（200ℓ～500ℓ）あれば飲料水として使えますが、煮沸しての使用をお勧めします。

ロ トイレ、洗面、洗濯等生活水の確保。

・お風呂のお湯は流さずに残しておけば生活水として使えます。

*小さな子供が居られる家庭では子供が入らない様ご注意ください

*大地震の時は家・マンションの敷地内で污水配管の破損や詰まりが無いかチェック・確認してから生活水を使用しましょう。

・雨水タンク（100ℓ～500ℓ）があればトイレ、洗濯には使えます

ハ 行政の給水は近隣の給水タンクや指定避難所で行われますが、給水を受けに行くタンク（ポリタンク等）が必要です。

ニ 節水パッククッキング

水はとっても貴重品。でも、料理に使ったりして体に摂取する以外に、茹で湯として使ったり調理器具を洗ったりと、普段何かと使う場面は多いはず。

そんな水を節約できる調理方法がパッククッキングです。

パッククッキングとは、耐熱性のポリ袋（※）に食材を入れ、袋のまま鍋で湯せんする調理方法です。普段の食品が使えること、加熱に使った水が汚れないので再利用できること、袋に入れたまま食器によそえば食器が汚れない、などのメリットがあります。

※耐熱性でないポリ袋の場合、ポリ袋に穴が開く恐れがあります。

ホ 携帯トイレ

一人1日5回×7日＝35回分

*燃やすごみとして回収する事になってはいますが、数日家庭内保管を求められる事があるかもしれませんので、携帯トイレ袋を2重に縛り、ゴミ袋に入れて保管し搬出する事をお勧めします。屋外に保管するとカラスが袋を食い破りますので、カラスが近づけない対策をお勧めします。

② 停電対策

イ 照明用懐中電灯、ランタン、ローソク等

*乾電池、充電器、発電機等も照明器具によって必要です

ロ 調理用火力（カセットコンロとガスボンベ等）

ハ 情報入手用スマホ、ラジオ、携帯テレビ

*自家用車の燃料をなるべく残してあれば、移動手段だけでなく、クーラー、暖房、情報入手、充電に使えます。

③ 流通網の断絶（買い物が出来ない）

イ 災害に備えたローリングストック

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。

ローリングストック法のポイントは、日常生活で消費しながら備蓄することです。食料等を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の鮮度を保ち、いざという時にも日常生活に近い食生活を送ることができるはずです。





1 1. 今後の検討課題

- (1) 全住民の安否確認の方策
- (2) 全住民との情報共有方法
- (3) 帰宅困難で学校、家庭に残された児童、要援護者（障害者、高齢者、病人、けが人等）の支援策
- (4) 在宅避難の届出方法と救援物資の受取方法
- (5) 地域内商業施設との災害時援助協定
- (6) 災害発生時の道路被災想定マップ作製